

市政協力委員の皆様へのお知らせ

# 市政協力ニュースレター

■ 2023年 新春号 ■

地域に関連する情報などを掲載していますので、  
保存して日々の活動にお役立てください。



京都市  
CITY OF KYOTO

## 市政協力委員 代表者会議を開催

令和4年7月27日、各区市政協力委員の代表者33名にご出席いただき、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じたうえで、「市政協力委員連絡協議会代表者会議」を開催しました。

会議では、代表幹事に村井信夫委員（伏見区）、代表副幹事に山本安一委員（上京区）、鈴木義康委員（右京区）、羽田浩一委員（中京区）の選出が報告されました。



村井代表幹事

村井代表幹事から、「コロナ禍において、これまで築いてきた地域力をいかに継続、発展させていくかが問われている。このような時こそ、私たち市政協力委員は、積み重ねてきた実績と培ってきたネットワークを十分に活かし、率先して市民の先頭に立ち、行政とともに汗をかきながら、地域コミュニティの活性化に向けて努力を続けていくことが何よりも大切である。」とご挨拶いただきました。



門川市長

また、志藤修史大谷大学社会学部  
コミュニケーションデザイン学科教授による

講演「コロナ禍による地域活動への影響と今後の活動について」等を踏まえ、門川市長からは「コロナ禍において、自治会や町内会、地域コミュニティの活性化や地域のデジタル化等について、御尽力を賜っていることに、改めて御礼申し上げます。京都の最大の力は地域力である。新型コロナウイルス感染症の拡大、財政危機という厳しい状況であるが、覚悟を決めて、魅力あふれる京都を次の世代へ引き継いでいきたい。」とご挨拶いただきました。



山本代表副幹事

閉会に当たり、山本代表副幹事が、「本日は、コロナ禍による地域活動への影響と今後の活動について事例を知ることができる貴重な機会となった。本日共有された情報については、地域に持ち帰り、まちづくりに活かしたい。」とご挨拶されました。

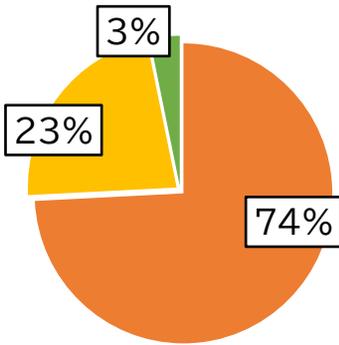
# コロナ禍による地域活動への影響と今後の活動について

## 1 アンケート結果から見た！ コロナ禍による地域活動への影響

調査時期：令和4年7月 対象者：各市政協力委員連絡協議会代表者39名

Q1 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、工夫して開催された事例や見直しを行った取組はありますか。

工夫・見直しを行った取組



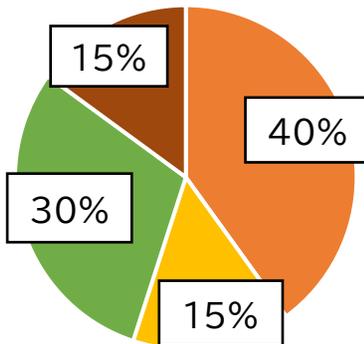
■ イベント ■ 会議 ■ 情報発信

主なご意見

- ・ イベントは内容を簡素化し、規模を縮小して開催している。
- ・ 防災訓練は役員のみで行っている。
- ・ 会議は体育館等の広い場所で行っている。
- ・ グループLINEやZoomを活用して情報共有・発信をしている。

Q2 休止や規模を縮小して開催していた会議やイベントについて、今後の開催の有無や方法、懸案事項を教えてください。

開催の有無や方法



■ 見直した内容で開催  
■ 以前と同じ内容で開催  
■ 開催しない  
■ その他

主なご意見

- ・ イベントの目的を再確認し内容を精査した。
- ・ イベントでの感染拡大を心配しており、飲食等の提供は控えている。
- ・ 高齢役員から若手への事業、ノウハウの継承、指導を進めたい。
- ・ 地域の交流が手薄であり、参加者の減少が心配。
- ・ 空白期間が長く、再開には大きなエネルギーが必要。

代表者会議では、志藤修史大谷大学社会学部コミュニケーションデザイン学科教授から、代表者の皆様に事前に御回答いただいた「地域活動に関するアンケート」の内容等を踏まえ、コロナ禍による地域活動への影響と今後の活動について、御講演いただきました。各地域で工夫されている事例等も含まれていますので、参考にさせていただきます。

## 2 暮らしやすいまちづくりのために 自治会・町内会に求められている役割とは？

地域の役割の中

住民同士の交流・親睦

安心安全な暮らし

公共的な情報の共有

行政とのつながり

地域の役割の外

主に4つの役割に分けられるが、何が大切かは地域によって大きく異なる。地域の状況に合わせた活動を進めていくことが必要。

### 3 どんな工夫をしている？ 各地域での取組事例をご紹介します！

#### 地域のつながり

- ☑ 顔の見える関係づくり
- ☑ 加入促進の取組

- ・ 会議の回数を増やし、顔を合わす機会を増やすよう努めている。
- ・ 若い世代の意見が反映されやすい環境を作り、加入促進を図っている。
- ・ 恒例の行事は継続して開催し、地域コミュニティ活性化に努めている。

#### 様々な団体との協力

- ☑ 団体の垣根を超える
- ☑ 関係の強化

- ・ エコの取組を学区の団体の垣根を越えて行っている。
- ・ 近隣の学校と連携を図り、定期的に地域活動に参加してもらっている。
- ・ 各種団体、学校、ボランティアとの関係強化を図っている。

#### 課題の把握・共有

- ☑ コロナ禍での対応
- ☑ ICTツールの活用

- ・ 社協、民生、地域包括支援センター、自治連合会で安心安全まちづくり協議会を立ち上げ、高齢者の見守りを学区全体に広げている。
- ・ LINEや学区のホームページを活用して地域に情報が行き渡るようにしている。

### 4 さいごに 志藤教授からのメッセージ

地域のつながりには「ぬか漬け談義」が大切



志藤 修史 教授

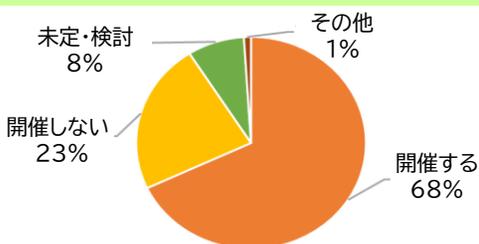
「ぬか漬け談義」とは？

- **ぬか漬けを持ち寄って話をするように、地域での向き合った対話、集会、協力が大切。**
- 家庭のぬか漬けのように地域の状況はひとつずつ違う。**地域の個性こそが大切な魅力。**
- **ぬか床を育てるように、日々のあいさつなど、小さな活動を積み重ねることで新たなつながりが生まれる。**

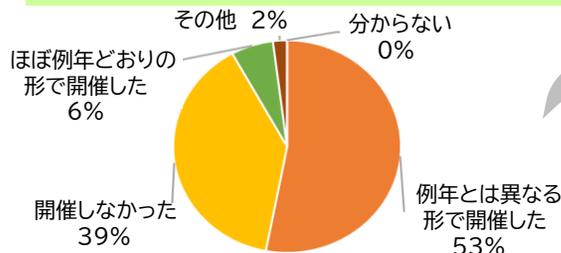
### 「地蔵盆に関するアンケート調査（コロナ禍への対応）」結果

コロナ禍や少子高齢化の影響を受けている、京都の夏の風物詩である「地蔵盆」の現状について、京都大学大学院 人間・環境研究科の前田昌弘准教授が令和4年6月下旬から8月20日頃の期間で実施された調査結果の一部をご紹介します。

#### 今年、地蔵盆は開催されますか？



#### 昨年、地蔵盆は開催されましたか？



今年度地蔵盆を開催すると回答した割合は**7割弱**でした。昨年度と比較し、**15ポイント**増えています。※

※ただし、感染者数急増のため予定を変更し、中止した場合もあると考えられる。

#### アンケートに寄せられた声



地蔵盆を続けていくことに様々な課題や不安を抱えている中、工夫を凝らしながら地域の実情に沿った地蔵盆のあり方を見直している地域も多くありました。地蔵盆は地域のつながりづくりの場として、今後も継承されていくことを願う声も多く聞かれました。

**前田准教授のアンケート結果  
詳細はこちらで紹介しています**



# マイナンバーカードの安全性をお伝えします

**Q** 裏面のマイナンバーを人に見られたらどうなるの？

**A** 見られても悪用はできません。

マイナンバー制度は個人情報を一箇所に集めて管理する仕組みではなく、マイナンバーだけで他人が個人情報を調べることはできません。

マイナンバーカードをオンラインで利用するときも、ICチップに入っている電子証明書を利用するため、マイナンバーは使われません。



**Q** マイナンバーカードに税や年金、医療などの情報も入っているのではないですか？

**A** マイナンバーカードには、**税や年金、医療などの情報は記録されていません**。また、ICチップから不正に情報を読み出そうとすると、ICチップが壊れる仕組みとなっています。

**Q** マイナンバーカードを落したり失くしたりしたらどうしよう。

**A** **フリーダイヤル 0120-95-0178** (24時間365日受付) に連絡し、マイナンバーカードの利用を一時停止してください。

## 無料出張スマホ講座

京都市

ソフトバンク株式会社

地域の集会所等に出向いて、地域団体等を対象にスマホ講座を開催しています！

普段の暮らしの中でのスマホの活用だけでなく、「自治会・町内会内の情報共有にスマホを活用できたらいいのに…」と思っている地域の皆様、実際に貸出機を使って体験してみませんか？

- 対象：自治会・町内会の地域団体（10名以上）
- 場所：地域の集会所や行政施設等（受講者側でご準備いただきます。）

講座に参加された方の声

基本的な使い方がとてもよくわかった

全体的にとってもよかった  
分かりやすく親切だった

使い方が分かり希望を持てるようになった

便利な使い方を楽しく勉強できた

詳しくはこちら！

京都市 出張スマホ講座 検索



- お問合せ先  
文化市民局地域自治推進室地域づくり推進担当  
075-222-3049



ご活用ください

ポスター・回覧チラシの一覧を掲載しています！



最新号と同時配送している  
ポスターや回覧チラシを掲載



過去のポスターと回覧チラシの  
一覧も掲載しています！

市民しんぶんと同時に届けているポスターや回覧チラシのホームページを京都市情報館に掲載しています。地域での情報共有等にお役立てください。なお、月2回の市民しんぶんと同時に届けています。保健委員や消防団、小学校、児童館などから、市民センターにも届けています。お配りしますが、市民センターへお願いただくと各団体へ緊急の内容以外については、他のチラシと一緒に回覧していただきます。

- 地域の皆様へ情報発信いただければ幸いです。このリーフレットの追加送付が必要な場合は、発行元までご連絡ください。
- 発行元：京都市文化市民局地域自治推進室  
TEL：222-3049  
FAX：222-3042
- 令和4年12月発行  
京都市印刷物 第044674号



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！

アクセスは  
こちらから！



市政協力委員 検索